



# 民主党

おしもと よしじ  
押本 吉司

## 25年度決算

◎ 25年度の市税収入率の評価と今後のさらなる対策は。

▲ 市税事務所と本庁が一体となってさまざまな取り組みを進めた結果、25年度の市税収入率が97.3%となり、22年ぶりに97%台を達成した。また収入未済額も11年度の約160億円をピークに約70億円まで縮減するなど、その効果があらわれてきている。今後は、債権や動産の差し押さえ、インターネットを活用した公売の実施などの従来からの収入確保策や市納税お知らせセンターからの納付の呼びかけによる早期の税収確保と累積滞納の未然防止に向けた取り組みをさらに強化し、新たな収入確保対策にも積極的に取り組み、さらなる収入率の向上と収入未済額の縮減に努めていく。



## 中学校給食

◎ 学校給食センターの建設候補地として3カ所の公用地が決まった経緯は。

▲ 学校給食センターを整備するためには、必要食数が調理可能な大規模な敷地が必要になる。地方卸売市場南部市場北側用地(幸区)は施設の再編整備や集約化により生じた用地の有効活用として、上平間管理公舎用地(中原区)は平間配水所のコンパクト化と上平間管理公舎などの廃止により生じる用地の有効活用として、マイコンシティ事業用地(麻生区)はマイコンセンター機能との複合化により限られた市有地の活用が図られることなどから、中学校給食推進会議などで検討し、南中北3カ所の市有地の活用を決定した。

## 全国学力・学習状況調査の公表

◎ 学力テストを今後の児童生徒の学習や学校の教育活動に役立てることが必然と思われる。子どもたち自身が自分の力を知るための個人票の活用も含めた対応は。

▲ 個人票とともに26年度から結果の見方や活用の仕方を示したプリントを配付し、児童生徒一人一人の学習状況を通知するとともに、学習方法などの助言を与え、保護者と共通理解を図ることで児童生徒

の学力向上につながるものと考えている。

## 土砂災害対策

◎ 川崎区を除く各区版のハザードマップが作成されているが、市民への配布と周知方法、特に土砂災害警戒区域周辺住民への周知は。

▲ 土砂災害警戒区域内の住民には、マップの作成時に戸別配付を行い、活用をお願いしている。またホームページへの掲載を行うとともに、区役所窓口へ備え付けるなどの方法により周知を図っている。今後も、説明会の開催を検討するなどさまざまな機会を捉えて周知に努めていく。

## 等々力陸上競技場改築工事

◎ 今回の工事請負契約の変更は、敷地内の掘削残土に殻などが混在していることから、ふるい分け作業などの対応が必要になったことや、より安全で快適なメインスタンドとするための追加工事に伴う契約金額の増額についての変更であるが、具体的な整備内容は。

▲ メイン階段やその上部雨よけひさしの拡張、競技者や観客用トイレの追加、グループシートの増設などの変更である。



等々力陸上競技場改築工事完成後のイメージ図

このほか、首都圏空港機能強化による飛行経路変更、待機児童の定義の見直し、学校図書館司書の配置、危険ドラッグ対策などについて質問がありました。

代表質疑 織田 勝久

## 子ども・子育て支援新制度

◎ 従来から2歳児までの保育施設卒園児の受入れ先の確保が課題である。新制度後も地域型保育事業(★2)所卒園後の受入れ先の見通しが曖昧では、保護者が安心して地域型保育事業を活用できない。受入れ枠をどのように確保するのか。

▲ 1つの地域型保育事業所に対し複数の受入れ施設を設定することにより、確実に卒園児の受入れ先が確保できるように努めていく。



# 共産党

さの よしあき  
佐野 仁昭

## 今後の収支見通し

◎ 財政収支の中長期推計の今後の収支見通しは実態と異なり、恣意的な試算となっている。その結論として、財政の厳しさを強調しているのは市民を惑わすものである。こうした手法はやめるべきでは。

▲ 財政収支の中長期推計では、最も収支状況が良いケースでも27年度からの10年間で1633億円の多大な収支不足が見込まれるなど、財政は極めて厳しい状況が続くものである。したがって、新たな総合計画などの策定に当たっても、厳しい財政状況をしっかりと認識しながら作業を進めなければならないと考えている。

## 市内企業の軍需産業化

◎ 市内に拠点を置く企業がアメリカ防衛市場に参入すると新聞報道があった。マイコンシティなどへの進出企業に対して協定などを締結し、武器製造にかかわ

りのない企業であることを前提に誘致してきた経緯があるが、その概要は。

▲ エレクトロニクスや情報通信企業などを中心に誘致し、研究開発都市としてふさわしいマイコン関連産業の一大集積を実現したところである。

## 中学校給食

◎ 議員団で全校調査をしたところ、中学校給食推進会議で報告された3校以外にも自校調理方式の可能性のある学校が存在するとの認識を持った。あらゆる知恵と工夫をし、自校調理方式の可能性のある学校を増やすべきでは。

▲ 生徒に安全・安心で良質な学校給食を提供するためには、衛生管理基準などを考慮した広さや規模を有する調理場を設置することが必要であるが、多くの学校で衛生管理可能な十分なスペースの確保などが困難な状況である。このことから、限られた市有地を最大限に活用してセンター方式による調理場を3カ所整備するとともに、小学校との合築校2校では合築校舎内の調理場を活用していく。

## 市立高等学校の教科書採択

◎ ある出版社の高校日本史教科書を希望した2校に対し、教育委員会は再考を求

め、教育委員会臨時会では別の教科書が採択された。特定の教科書の排除では。

▲ 川崎で学び育つ児童生徒が社会的事象に関心を持ち、多面的、多角的に考察し公正に判断する能力や態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることが大切であるという視点から教育委員会の責任と権限において適正に採択した。

## 木造住宅耐震改修助成事業

◎ 耐震診断を行ったが、耐震改修には至らなかった人へのアンケート調査では、「利用を迷っている」との回答が32%であった。高齢で改修費用が用意できず、寝たきりなどで全面改修できないのではないかと。他都市で実施している一部屋耐震や耐震ベッドなどの助成制度を検討すべきでは。

▲ 安全性の確保が建築物の一部に限定される部分的な改修などは補助対象としていない。今後も利用しやす



木造住宅の耐震改修工事

い制度を検討していく。

このほか、全国学力・学習状況調査の活用、土砂災害防止対策、保育所の待機児童解消、小児医療費助成制度の拡充などについて質問がありました。

代表質疑 石田 和子

## 子ども・子育て支援新制度

◎ 従来の家庭保育福祉員、いわゆる保育ママは保育士、幼稚園教諭、保健師、看護師などの有資格者で家庭的な保育を担ってきた。新制度でも従来と同様の基準に設定すべきでは。

▲ 保育従事者となる家庭的保育者の資格は国の省令に基づき、市長が行う研修を修了した保育士、または保育士と同等以上の知識と経験を持つと市長が認める者としていきたい。また、保育士と同等以上の知識と経験を持つと市長が認める者の認定基準は、現行の家庭保育福祉員制度を踏まえ、条例とは別に詳しく定めていきたいと考えている。



# 新しい川崎の会

そえだ まさる  
添田 勝

## 水道料金の負担軽減措置

◎ 1戸当たり月50円の水道料金の負担軽減措置は、市民にほとんど認知されていないなど有意性が見出し難い。期間満了を待たず、27年度から見直すべきでは。

▲ 企業努力による施設の再構築や行財政改革などの効果は、基本的には水道料金を負担している使用者への還元や、事業を継続的・安定的に執行するために浄水場などの基幹施設や管路の耐震化、更新に充てるべきものと考えており、27年度までの時限措置として実施している。

## 平間配水所用地の有効利用

◎ 「平間配水所用地等の有効活用に関する基本方針」中の地域の住民などに貢献できる公益的な使用用途の検討と、水道事業の持続可能な経営基盤の確保という2つの視点が両立できる現状で想定される用途は。

▲ 次期整備エリアは、行政ニーズ優先の考え方などに基づき、活用方策などの検討を進めていく。検討に当たり、同用地



平間配水所

に隣接した緑道との調和や災害時の一時避難場所としての活用などの配慮を行い、公共公益施設や市民利用が可能な用途などを関係局・区で調整を図っていく。

## 障害者グループホーム

◎ 他都市では、既存住宅をグループホームに転用する際に、火災対策を中心とした独自の要件を作成し、戸建て住宅の転用に関する用途変更基準を緩和する仕組みがあるが、参考にすべきでは。

▲ 市は、これまでもバリアフリー化やスプリンクラーなど消防設備設置の整備費補助など、市独自の補助制度を創設し、運用してきた。今後も、引き続き必要な検討を行っていきたい。

## 産後ケア

◎ 26年10月の事業開始予定とのことだが、自己負担額は。

▲ 母子が助産所に宿泊する宿泊型は、1

日の利用料3万円に対し自己負担額1万円、助産師が自宅を訪問するアウトリーチ型は、1回1万2千円に対し自己負担額6千円で、所得に応じ市民税非課税世帯などは減免する予定である。

このほか、川崎市自動車運送事業会計、学校給食センター、動物愛護センターについて質問がありました。

## 川崎市議会トピックス 新春対談番組のお知らせ

議長と副議長の「新春対談」をtvk(テレビ神奈川)で放送します。ぜひご覧ください。  
平成 27 年 1 月 3 日(土)  
午前 10:00 ~ 10:15  
(手話通訳付き)